

木の国を生かすために、今

進行

天野礼子

アウトプライター

石出和博

ハウジングオペレーション代表

梶田真章

法然院貫主

パネラー
千宗室

茶道裏千家第16代宗元



一言も聞きもらすまいと家元の話に耳を傾ける参会者

ていくことを誰もが望むのであれば、身近なところから始めたらどうかと思います。窓を開けること。そういったことで、皆さま方が自然と向き合えば、「平常心」という本来の自分の心にある、さまざまなものも素直に見られるようになります。

仏教はどうして胸の前で、合掌するのですか。上でもなく、下でもなく。それはこの胸の中に、生まれたときの尊い、自分の仏性をずっと持ち続けているからです。だから、合掌は胸の前です。合掌するということ、それは自分のけがれない素直な気持ちを確認するということです。そして、そこに「平常心」を確認できれば、私たちは大きな自然の中に抱かれているちっほけな赤子のひとり一人だということを認識でき、それを喜びとして感じられるようになると思います。ご静聴、ありがとうございました。